

かけはし

K A K E H A S H I

今号裏面は、「退院調整看護師
と病棟看護師との違い」です



医療福祉支援センター長
小林 利彦

新型コロナウイルスワクチンの接種体制について

皆さま、明けましておめでとうございます。

本来であれば、「輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます」とご挨拶したいところですが、昨年初頭からの新型コロナウイルス感染症の流行にともない、これまでとは全く異なる年末年始を迎えたかと思えます。実際、昨年の「今年の漢字」は「密」、「新語・流行語大賞」の年間大賞は「3密」、「SNS流行語大賞」は「Stay Home/おうち時間」でしたが、それらの言葉が象徴するように、年末年始の帰省や遠出を避け、自宅や近隣で静かに過ごしていた方も多かったのではないのでしょうか。

さて、新型コロナウイルス対策に関して、現在、最も期待感が高いのはワクチン接種かと思えます。WHOの2020年12月22日時点のまとめによると、臨床試験に入っているCOVID-19ワクチン候補は61種類、前臨床段階にあるものは172種類とのことです。また、皆さんもご存知のように、英国では12月8日から、米国では12月14日から承認ワクチンの接種が既に始まっています。そのような状況下、日本では、現時点でファイザー社、アストラゼネカ社、武田/モデルナ社のワクチン採用が予定されています。今後は、実際のワクチン接種がどの時期から始まり、どのような順序で実施されるかが気になりますが、12月9日に「予防接種法及び検疫法の一部を改正する法律」が公布され、臨時接種における特例として、国による費用負担のもと市町村にて接種される方向性が決まりました。

具体的には、2021年2月後半から3月にかけて医療従事者向け(400万人)にワクチン接種が行われ、その後、3月後半から高齢者(2021年度中に65歳以上になる3600万人)、「基礎疾患を有する人(820万人)」、高齢者等の施設従事者(200万人)、60~64歳の人(750万人)の順番でワクチン接種が実施される予定です。ちなみに、「厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会」が定めた基礎疾患とは、①慢性の呼吸器の病気 ②慢性の心臓病(高血圧を含む) ③慢性の腎臓病 ④慢性の肝臓病(ただし、脂肪肝や慢性肝炎を除く) ⑤インスリンや飲み薬で治療中の糖尿病又は他の病気を併発している糖尿病 ⑥血液の病気(ただし、鉄欠乏性貧血を除く) ⑦免疫の機能が低下する病気(治療中の悪性腫瘍を含む) ⑧ステロイドなど、免疫の機能を低下させる治療を受けている ⑨免疫の異常に伴う神経疾患や神経筋疾患 ⑩神経疾患や神経筋疾患が原因で身体の機能が衰えた状態(呼吸障害等) ⑪染色体異常 ⑫重症心身障害(重度の肢体不自由と重度の知的障害とが重複した状態) ⑬睡眠時無呼吸症候群(①~③で通院または入院) ⑭基準(BMI 30以上)を満たす肥満の方です。実際には市町によって対象者へのクーポン配布などで混乱が起こることも予想されますが、とりあえず現時点での状況について医療関係者は認識しておく必要があります。

最後になりましたが、本年も浜松医科大学医学部附属病院・医療福祉支援センターのスタッフ一同は地域医療に貢献していきますので、ご支援ご指導のほどよろしくお願い致します。

医療福祉支援センター長 小林利彦

